初期のフランス・ギャルが歌った歌の詞

（日本語訳）

沼田 一道

Quelques Paroles de Chansons Chantées par France Gall

traduit en Japonais

Kazumiti NUMATA

目次

0. フランス・ギャル考 ..... page 2

1. Mes premières vraies vacances ..... page 9
   初めての本物のバカンス　（はじめてのバカンス）
2. Laisse tomber les filles ..... page 13
   女の子たちを弄ぶと　（娘たちにかまわないで）
3. Poupée de cire poupée de son ..... page 17
   蝋人形　音人形　（夢みるシャンソン人形）
4. Attends ou va t'en ..... page 21
   待つのそれとも行っちゃうの　（涙のシャンソン日記）
5. Baby Pop ..... page 25
   ベビー ポップ　（ベビー・ポップ）
6. Nous ne sommes pas des anges ..... page 29
   私たちは天使じゃない　（天使のためいき）
7. La rose des vents ..... page 33
   風の薔薇　（羅針盤）
8. Les sucettes ..... page 37
   棒つきキャンディー　（アニーとボンボン）
9. Quand on est ensemble ..... page 41
   一緒にいれば　（一緒にいると）
10. Néfertiti ..... page 45
    ネフェルティティ
11. Polichinelle ..... page 49
    ポリシネル：道化人形　（恋のためいき）
12. Rue de l'abricot ..... page 53
    アプリコット（杏）通り　（アプリコット通り）

フランス・ギャル考

France Gall[1]（1947~ 2018）は，1963 年に 16 歳でデビューし 1990 年代後半まで第一線で活躍したフランスの女性歌手である．彼女の歌声には独特の魅力があり，その歌は世界中の人に愛聴されている．死去に際しては，仏首相を始めとする多くの著名人が追悼メッセージを寄せた[2]．また，ネット上の歌唱動画のコメント欄には，謝意を捧げ冥福を祈る言葉が溢れている．

よく知られているように，F. ギャルの歌唱は 1976 年の結婚の前後で大きく変わっている．デビュー以来の路線が行き詰まったとか，Michel Berger（夫，ピアニスト・作曲家）の書いた曲を歌うようになった結果とか言われているが，理由はともかく，1970 年代中盤以前の F. ギャル（前期 F. ギャル）と以後の F・ギャル（後期 F. ギャル）で歌の印象は大きく異なりファン層もハッキリ別かれる．

前期 F. ギャルは一般的な観念や気持ちを自分の中で解釈して歌うユニークな音声奏者である．当時人気アイドルであったが，いわゆるアイドル歌手の枠には収まり切らない存在であったと思う．後期 F. ギャルは自身の想念や感情を聴き手に伝えて共感を得る通常スタイルの優れて魅力的な歌手である．あえて分類すればシャンソン風ロック歌手といえよう．

いわゆるシャンソンを歌わなかった F. ギャルであるが，例外的に，1976 年と 1997 年に “La mamma” を Charles Aznabour とデュエットしている[3]．1976 年は彼女が結婚した年で，前期最後の歌唱と思われる．29 歳の F. ギャルは甘く

[1]本名は Isabelle Geneviève Marie Anne Gall.

[2]日本の新聞・TV もその死去と生前の活動を報じた.

[3]“La mamma” は，Robert Gall（F. ギャルの父親）が作詞し，C. アズナブールが作曲して歌ったヒット曲.

キュートな歌声でリズムに乗った輪郭のハッキリした言葉を連ねて正面から主唱する．52 歳の C. アズナブールは奥行きのある声で緩急自在のいわゆるシャンソン風語り唱法で横から伴唱する．C. アズナブールによる催眠効果と F. ギャルによる覚醒効果が混じった不思議な味わいである [4].
1997 年は彼女が引退した年で，現役最後の歌唱と思われる．50 歳 F. ギャルの低く弱めのシャンソン風歌唱を，73 歳 C. アズナブールが抑え気味の語り唱法で支えながら合唱している．二人の沈み込むような声がよく重なり，愛する家族を失うときの切実な悲しみが伝わってくる [5].

前期の F. ギャルと後期の F. ギャルのどちらが魅力的か? もちろんそれは各人の好みによるが，ネットの動画コメントを見ると，多くの人はどちらか一方を（排他的に）好むようである．これは，最初に（リアルタイムで）出会った F. ギャルがどちらであるかに依るのかもしれない．筆者は彼女が世を去る数か月前にその魅力を認識した超時代遅れのファンであるが，率直に言って，前期 F. ギャルの歌唱に彼女のオリジナリティを強く感じる．彼女の 1960 年代の歌は半世紀以上経った現在聴いても新鮮で刺激的であり，ネットの動画を通して新しい（若い）ファンを獲得し続けている．時代の変遷（時の試練）に耐えて生き続ける彼女の歌唱は「クラシック」[6] といっても差支えないであろう．

---

[4] Charles Aznavour France Gall La mamma,
https://www.youtube.com/watch?v=7VhOWabItYI

[5] La Mamma Aznavour,
https://www.youtube.com/watch?v=ENREpDV-04k
彼女の私的お別れコンサートに彼がゲスト出演して一緒に歌っている動画．彼女は 1992 年に夫（心臓発作）を，1997 年には娘（難病）を失っている．

[6]「クラシック（classic)」とは，ラテン語の「class（クラス)」に由来し,「最高クラスの」=「一流の」という意味である（Wikipedia)．ここでは,「永遠に輝き（新鮮さ）を失わない」という意味で使っている．音楽界で使われる「クラシック = 古典（派)」とは無縁である．

以下，前期 F. ギャルの歌唱が何故「クラッシック」たり得るのかについて考えてみたい．

歌声（うたごえ）は，人間の発声器官から出る音の列であり，音色・響き・リズム・ピッチ・強弱等の変化によって「言葉」を伝える．言葉（言語）は第一義的には意味を伝えるものであろうが，発音（発声）という行為には発音者の心を表出するという一面もある．彼女の唱法は声を殆ど整形，装飾せずにそのままぶつけるもので，声と心の間に夾雑物が少ない．前期 F. ギャルの歌声は伝えるべき「心（気分，想い）」が言葉になる瞬間のエネルギー（心の振動，リズム）を感じさせるのである．声のピッチは曲が指定する音程に従うのであるが，そこから微妙かつ自然に外れることもしばしばあり彼女自身の生気を伝える．また歌っているとき，彼女の頭，体，手，足は音と連動するリズムを刻んでいる．計算された振付けと思われるものもあるが，多くは彼女の内部の鼓動の自然な発露と感じられる．視覚的といえば，端正で知的な容貌[7]と小柄で愛らしく均整のとれた容姿も彼女の歌に多大の魅力を付加していた．

F. ギャルの歌の多くは当然ながら仏語であり，非母国語の人間が耳で聴くだけで意味を理解するのは難しい．しかし，意味が分からなくても，その歌声は彼女の心の動きを感じさせ聴く者に訴えてくる．ピアノやギターの演奏を聴くのと似たような感じである．このことは，デビュー前後の彼女がジャズを学んでいたことと関係しているかもしれない．実際にジャズ風の曲をいくつも歌っているし，彼女の歌には「ラララララ」や「ドゥドゥドゥドゥドゥ」や「ルールールー」のような「感覚語」がしばしば現れる．

[7]西欧系の硬さを残しつつ柔らかさも感じさせる優しい顔立ちである．声も日本人の若い女性（女生徒，女学生）に近いトーンで親近感を覚える．容貌（化粧？）は時期や歌によって様々に変化する．

彼女は仏語以外でも歌っている．大部分は独語によるオリジナル曲で，1968 年から 1972 年まで独 decca 社と契約していた時代のものである [8]．そこでは，重く硬い独語による比較的単純な内容の歌詞を，自分流のリズムと気持ちの入った声で丁寧に歌っている．かなりのエネルギーを使って独語を発音しているように感じるが，仏語以上にキュートな歌声で美しく響く．同時期には伊語の歌も歌っている．オリジナルは 2 曲しか確認できないが，こちらは曲に溶け込んで気持ち良さそうに歌っている．明瞭に発音される彼女の伊語は子音成分が多めなのか言葉の輪郭がハッキリして力強い．

仏語の場合同様，独語も伊語も（聴くだけでは）意味が分からないのであるが，歌声（音）自体が訴えてくる．この時期の F. ギャルは，年の割に若作り（ロリータ作り！）の衣装と，濃いめのアイ・メークで，ビジュアル的にも強くアピールしていた．

不思議なのは前期 F. ギャルが全く英語で歌わなかったことである [9]．自身のヒット曲の翻訳版を，日本語を含め数々の言語で何曲も歌っているが，英語版は存在しない．独自の歌唱を貫く上で何らかの支障があったのかと想像するが本当のところは分からない．

仏語以外の歌も魅力的ではあるが,「クラシック」とはいえない．仏語の歌もすべてが「クラシック」という訳ではない．歌唱が「クラシック」になるためには，詞（詩）のオリジナリティが必要である.「手垢のついていない（今までにない）観点」を，無垢で純粋な心と独自の感受性と知性で，誠実に

[8] カバーも含め 42 曲あるとのこと．“Ein bißchen Goethe, ein bißchen Bonaparte”， https://www.youtube.com/watch?v=p9g4Md_huII は必見である．

[9] 後期 F. ギャルは 1984 年の TV ショーで余興的に”Be my baby”を歌っている．これが唯一確認できた英語歌唱である．

考えながら歌った時，その歌唱が「クラシック」の域に達することがあったということである．前期 F. ギャルの歌唱は，聴いている人の感情に働きかけるというよりは，歌われる何かを一生懸命追及して表現しているという感じである[10]．そこでは詞（と曲）が本質的に重要であり，彼女は歌詞の意味と響きについてとても敏感であった．その意味で，F. ギャルが天才 Serjous Gainsbourg と出会ったのは，彼女（と我々）にとって幸せなことであった[11]．

ダブル・ミーニングを駆使する S. ゲンスブールの詞をそれと知らずに歌ったことに（後で気付いて）傷つき活動の場をドイツに移したという話もあるが，ほとぼりが冷めた後は，彼のことを呆れながらも評価していたと想像する[12]．

ダブル・ミーニング云々というのは，”Les Sucettes”という 1966 年のヒット曲のことである．18(19) 歳の F. ギャルはこの曲を「女児（アニー）が棒飴をしゃぶりその液が喉を流れ落ちるときの官能的な喜びを人間の原初的な喜びのひとつとして歌いあげる」と解釈し，聞く者がアニーの喜びを祝福したくなるように歌っている．幼なすぎる感覚を歌うことに戸惑いはあったかもしれないが，前年には同様に子供っぽい”Sacré Charlemagne”（シャルマーニュ大王 ; 作詞 R. ギャル）を歌ってもいるので無理に納得したのではないかと思う．しかし，その歌詞は棒飴をしゃぶる行為でいわゆる一つの性行為を連想させる企みを隠していた．純粋な彼女が無垢に歌えば歌うほど（悪い？）男共は嬉しくなるという仕組みである．彼女は当該行為を恥ずかしいと思ったわけではなく，「連

[10] 歌手の立場としては，「追及した結果をこんな風に歌っているいる私を聴いて」ということになる．

[11] 彼女の父 R. ギャルが知り合いの S. ゲンスブールに娘のための曲を依頼したのが始まりだそうである．

[12] 1997 年の私的お別れコンサートでは，歌った曲のほとんどが後期のものである中，彼が書いた前期の曲 ”Attens ou va t’en” を例外的に歌っている．(https://www.youtube.com/watch?v=DpmQxGltcC4)

想により表現する余地がある」ことに理解が至らなかったことを恥じたのだと思う．作詞・作曲のS. ゲンスブールが無垢で純粋な理解に留まるよう誘導した（第二の意味を隠した）ことで人間不信に陥ったかもしれない．彼の方は，前期F. ギャルの歌唱を評価し好意さえ持っていたと思うし，傷つけようという意図はなかったと想像する．しかし，無意識に傷つけられるのはとてもつらいことである．

若いF. ギャルが新鮮な歌詞の内容に触発され，純粋に無垢な心で誠実に考えたと言っても，考えたことが真実に触れたとか，真理に達したとか言いたい訳ではない．そもそも彼女が発する「言葉」は歌詞そのものでしかない．考えたことを，言葉そのものではなく，それに付随するリズムと微妙な音声で表現したところに彼女のユニークさがある．人は誰でも，物心つけば，その時々の自分を基点として様々なことについて考える．考えてそれを言葉として残すのは，小説家，思想家，評論家等と呼ばれる人達である．普通の若者が純粋・無垢な心で誠実に考えたことを残す機会はあまりない．せいぜい若い詩人くらいのものであろう．多くの人は考えたことを忘れていく．しかし彼女は歌声としてそれを残した．多くの人は彼女の歌唱を聴くと若いとき考えたことが瞬時によみがえる．それは，母国語を異にする外国人においても起きる[13]．そう，前期F. ギャルは彼女の感じたこと考えたことを歌唱で表現する「詩人」なのであった．そのユニークな「詩」は時の試練に耐えて「クラシック」のレベルに達している．

こう考えてくると前期F. ギャルがどのような歌詞に触発されて何を感じ考えたのか知りたくなる．そのためには歌詞の意味をキチンと理解する必要が生ずる．ということで，前

[13]タイトルを理解し歌詞中の単語をいくつか拾える程度の知識は必要かもしれない．

期 F. ギャルが 1964 年から 1968 年にかけて歌った 12 曲の歌詞（仏語）を日本語に翻訳してみた．12 曲中 7 曲が S. ゲンスブールの作詞・作曲したものである．父親の R. ギャルが作詞したものも 2 曲ある [14].

以下に示す訳は，大学の入学祝いにもらった仏和辞典と Google 翻訳（仏 → 英）および第二外国語の微かな記憶に頼った自己流である．インターネットには同好の士（F. ギャル好き，仏語好き，シャンソン好き）が少なからずいて，F. ギャルのいくつかの歌の日本語訳を見ることもできる．またプロの作詞家が翻訳（意訳？）した商用の翻訳曲が存在するものもある．自己流に行き詰った時，それらが存在すれば，参考にした．参考にした訳はどれも筆者の仏語力 [15] をはるかに超えた人達によるものと思われるが，詞（詩）の理解・日本語表現については自分の感性に従った．

参考にさせていただいた同好の士たちに感謝する．

[14] 二つとも他の作詞家と連名．
[15] ほぼ 0 に近い．

Mes premières vraies vacances

Paroles de Maurice Vidalin
Musique de Jacques Datin



https://www.youtube.com/watch?v=pziPZb5SJHk
France Gall - Mes premieres vraies vacances (1964)





Mes premières vraies vacances (Maurice Vidalin)

Mes premières vraies vacances
J'en rêvais depuis longtemps
Et cette année j'ai la chance
De partir sans mes parents
Ce n'est pas que ma famille
Soit vraiment collet monté
Mais moi je suis grande fille
J'ai besoin de liberté

Fini de toujours dire où l'on est
Fini la trempette où l'on à pied
Fini de s'habiller pour dîner
Bien fini
J'aurai le droit de marcher nus pieds
J'aurai le droit d'être décoiffée
J'aurai le droit d'aller me baigner
Sans bonnet

Mes premières vraies vacances
Moi je veux en profiter
Pour sortir de mon enfance
Par les portes de l'été
Mes premières vraies vacances
Comme elles me semblaient loin
Et voilà qu'elles commencent
Je serai là-bas demain

Faudra que je me trouve un garçon
Faudra qu'il danse comme un champion
Faudra qu'il soit pas trop polisson
Faudrait pas
D'accord pour la ballade en bateau
D'accord pour qu'il m'offre des gâteaux
D'accord mais s'il m'en demande trop
Pas d'accord

Mes premières vraies vacances
Je ne veux pas les gâcher
En écoutant ces romances
Qu'il ne chante qu'un été
Car je pense, quand j'y pense
Que c'est trop pour quinze jours

↗

Des premières vraies vacances
Et un premier grand amour
Des premières vraies vacances
Et un premier grand amour.....

初めての本物のバカンス　（訳：ぬまた かずみち）

私の初めての本物のバカンス
長いこと私が夢見ていた
その機会がやってきた
そう今年は親とは別に出かけるの
私の家族が古めかしい
という訳じゃあないわ
でも私はもう大きな女の子
私には自由が必要よ

おしまい　何処にいるかいつも知らせるのは
おしまい　足の届くところで水に浸かるのは
おしまい　正装してディナーに行くのは
そうおしまい
私は裸足で歩いてもいいはずよ
乱れた髪でいてもいいはずよ
海水浴に行ってもいいはずよ
帽子も被らずに

私の初めての本物のバカンス
私はそれを生かしたい
子供の殻から脱け出すの
夏の扉を抜けて
私の初めての本物のバカンス
それは私にとって遠くに見えた
だけど今それが始まろうとしている
明日私はそこにいる

まず男の子と出会わなくては
彼はダンスが上手でなくては
でも不良過ぎてはダメ
そうダメ
ボート遊びはＯＫ
お菓子をくれるのもＯＫ
ＯＫだけど，もし彼がそれ以上を求めたら
それはダメ

私の初めての本物のバカンス
私はそれを空しく過したくない
こういうロマンスの歌を聴くと
みな夏のことしか歌ってない
というのは，それを考えるとき，私は思う
１５日の休暇でもあまりに試すことが多すぎるからだと
その初めての本物のバカンス
そして初めての本当の愛
その初めての本物のバカンス
そして初めての本当の愛…

■歌詞の内容は日常生活の延長なので,「フランス人の日常」に関する素養のない筆者には，細部を正確に理解できているかどうか自信が持てない．特に，最終連（第 5 連）3–6 行目の意味はよく分からない．

デビュー（1963 年，16 歳）の頃はジャズの勉強もしていたようで，ジャズ系の歌をいろいろ歌っている．彼女の歌声とリズム感は，ジャズ系の曲で十分に魅力を発揮しているが，大きなヒットには至らなかったようである．大ヒットのためには，歌詞解釈を背景とした「純粋・誠実・イノセンス」の要素が足りなかったのではないかと思う．

この歌（「初めての本物のバカンス」）は，ジャズのビートを残しつつ歌詞の意味を導入して柔らかい雰囲気の曲にしている．両者はよくマッチし，F. ギャルは大人になろうとする女の子の新鮮な期待と不安をうまく表現している．
日本で発売されたこの曲を含む CD（仏語歌唱）におけるこの歌の邦題は「はじめてのバカンス」とされている．

ネットで容易に聴ける初期ジャズ系の歌として，以下のようなものがある．

1963: Pense à moi
https://www.youtube.com/watch?v=A3_yFhQM8kM

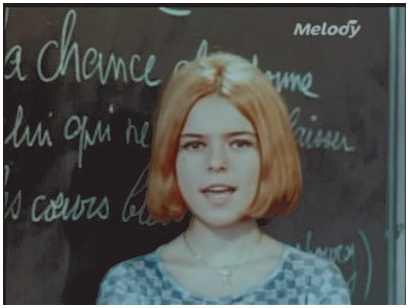
1964: Jazz à gogo
https://www.youtube.com/watch?v=Cn9pp0VA8Uc
https://www.youtube.com/watch?v=4sF_PznA07E

1965: Le cœur qui jazze
https://www.youtube.com/watch?v=9PuSULOqtFQ

ジャズを歌っている F. ギャルは，結構大人っぽく見える．彼女は歌の心を正確に表現するので，その後，年相応の女の子，あるいは不相応の幼女（！）の歌を歌うと，その年代の雰囲気が現れる．年をとるに連れて若返っていく感もある．最晩年の顔も若い．

Laisse tomber les filles

Paroles et Musique de Serjous Gainsbourg



https://www.youtube.com/watch?v=FWRCJhsz5t4
France Gall - Laisse tomber les filles 1964





Laisse tomber les filles (Serjous Gainsbourg)

Laisse tomber les filles
Laisse tomber les filles
Un jour c'est toi qu'on laissera
Laisse tomber les filles
Laisse tomber les filles
Un jour c'est toi qui pleurera

Oui j'ai pleuré mais ce jour-là
Non je ne pleurerai pas
Non je ne pleurerai pas
Je dirai c'est bien fait pour toi
Je dirai ça t'apprendra
Je dirai ça t'apprendra

Laisse tomber les filles
Laisse tomber les filles
Ça te jouera un mauvais tour
Laisse tomber les filles
Laisse tomber les filles
Tu le paieras un de ces jours

On ne joue pas impunément
Avec un cœur innocent
Avec un cœur innocent
Tu verras ce que je ressens
Avant qu'il ne soit longtemps
Avant qu'il ne soit longtemps

La chance abandonne
Celui qui ne sait
Que laisser des coeurs blessés
Tu n'auras personne
Pour te consoler
Tu ne l'auras pas volé

Laisse tomber les filles
Laisse tomber les filles
Un jour c'est toi qu'on laissera
Laisse tomber les filles
Laisse tomber les filles
Un jour c'est toi qui pleureras
↗
Non pour te plaindre il n'y aura
Personne d'autre que toi
Personne d'autre que toi
Alors tu te rappelleras
Tout ce que je te dis là
Tout ce que je te dis là

女の子たちを玩んだら　　（訳：ぬまた かずみち）

女の子たちを玩んだら
女の子たちを玩んだら
いつの日か捨てられるのはあなた
女の子たちを玩んだら
女の子たちを玩んだら
いつの日か泣くのはあなた

そう私も泣いたけど　その日に
泣くのは私じゃない
泣くのは私じゃない
当然の報いよって言ってあげる
思い知ったかって言ってあげる
思い知ったかって言ってあげる

女の子たちを玩んだら
女の子たちを玩んだら
それはあなたに悪さをするわよ
女の子たちを玩んだら
女の子たちを玩んだら
近いうちに償うことになるわよ

お咎めなしには玩具にできない
無垢な心を
無垢な心をね
あなたも私の気持ちが分かるでしょう
遠くないうちに
遠くないうちにね

運は見放すのよ
人の気持ちを傷付けることしか
知らない人を
誰もいなくなるでしょう
あなたを慰めてくれる人なんか
そういう人を失って行くんだわ

女の子たちを玩んだら
女の子たちを玩んだら　　あなたに同情してくれる人なんていなくなる
いつの日か捨てられるのはあなた　　あなた自身以外に誰も
女の子たちを玩んだら　　あなた自身以外に誰もね
女の子たちを玩んだら　　その時思い出すのよ
いつの日か泣くのはあなた　　そう私の言ったことの全てを
↗　　そう私の言ったことの全てを

■ S. ゲンスブールが F. ギャルに提供した詞（曲）は，身の周りの日常的な真理・真実，仮想的人物の様態，貧-労苦-戦争の予感などを核とした何でもありのユニークなものである．一見難解な印象もあるが，核となるモティーフを細かく丁寧に拡げていくだけなので，その筋が見えると，正しく理解できたことを実感できる．

最初,「Laisse tomber」の意味が分からなかった．辞書を頼りにいろいろ解釈してみても今一つピンとこない．ネットで邦訳を探してみたら，朝倉ノニー氏のブログが見つかった．

http://chantefable2.blog.fc2.com/blog-entry-527.html?sp

そこで示されている「(恋人を) 振る、棄てる」という訳をみて少し理解できた．単に「振る」ではあまりしっくり来ないので，今一歩進めて,「弄ぶ」と意訳した．

「Laisse tomber ＝ 弄ぶ」と解すると全体の意味がスッキリ通る．詞の内容は単純素朴な真理であり，我々にも共感できるものである．S. ゲンスブールはロシア-ユダヤ系フランス人であるが，ユダヤ教徒の日常生活における「教訓」には，当然ながら，万国（民族）共通のものがある．

「素朴な真理」を軽妙に歌うこの曲は，驚くほど多くの歌手によってカバーされている．殆どが仏語であるが，英語のカバー曲もある．男性歌手の中には,「les filles」を「les garçons」に変えて歌っているものもある．April March（すごい名前！）という女性歌手は，仏語と英語の両方でカバーしている．

仏語

https://www.youtube.com/watch?v=ljTQVyWJ8uA

April March - Laisse Tomber les Filles

英語

https://www.youtube.com/watch?v=pyxftLC7gew

Chick Habit

いくつか聴き比べたが，F. ギャルの丁寧な発音と単語の区切り方が一番しっくりくる．最初に聞いたオリジナルの刷り込みかもしれない．

Poupée de cire poupée de son

Paroles et Musique de Serjous Gainsbourg



https://www.youtube.com/watch?v=rRva0YOVtcI
France Gall - Poupée de cire, poupée de son (1965)





Poupée de cire poupée de son (Serjous Gainsbourg)

Je suis une poupée de cire
Une poupée de son
Mon cœur est gravé dans mes chansons
Poupée de cire poupée de son

Suis-je meilleure suis-je pire
Qu'une poupée de salon
Je vois la vie en rose bonbon
Poupée de cire poupée de son

Mes disques sont un miroir
Dans lequel chacun peut me voir
Je suis partout à la fois
Brisée en mille éclats de voix

Autour de moi j'entends rire
Les poupées de chiffon
Celles qui dansent sur mes chansons
Poupée de cire poupée de son

Elles se laissent séduire
Pour un oui pour un nom
L'amour n'est pas que dans les chansons
Poupée de cire poupée de son

Mes disques sont un miroir
Dans lequel chacun peut me voir
Je suis partout à la fois
Brisée en mille éclats de voix

Seule parfois je soupire
Je me dis à quoi bon
Chanter ainsi l'amour sans raison
Sans rien connaître des garçons

Je n'suis qu'une poupée de cire
Qu'une poupée de son
Sous le soleil de mes cheveux blonds
Poupée de cire poupée de son

Mais un jour je vivrai mes chansons
Poupée de cire poupée de son
Sans craindre la chaleur des garçons
Poupée de cire poupée de son

蝋人形　音人形　　（訳：ぬまた かずみち）

私は蝋でできた人形
歌う人形
私の心は私の歌に刻まれている
蝋人形　音人形

私の方が良い？それとも悪い？
サロンの高級人形と比べて
私に見える世界はバラ色のボンボンのよう
蝋人形　音人形

私のレコードたちは一つの鏡
誰もがその中に私を見ることができる
私は同時にあらゆる場所にいる
何千という声のかけらに割られて

周りからは聞こえてくる
布でできた人形たちの笑い声が
私の歌で踊っている彼女たちの
蝋人形　音人形

彼女たちは身を任す
いいわと見栄の誘惑に
愛は歌の中だけにあるのじゃない
蝋人形　音人形

私のレコードたちは一つの鏡
誰もがその中に私を見ることができる
私は同時にあらゆる場所にいる
何千という声のかけらに割られて

一人になるとよく溜息をつく
こんなことをして何になるの
わけもなく愛の歌を歌って
男の子のことを知りもせずに

私は蝋でできたただの人形
ただの歌う人形
私のブロンドの髪のような太陽の下で
蝋人形　音人形

でもいつの日か私は私の歌を生きるの
蝋でできた音人形だけど
男の子の熱情を恐れずに
蝋人形　音人形

■この歌詞には 3 種類の人形が登場する．
poupée de cire poupée de son（歌い手）は，poupée de salon には「どっちが良い」と挑戦的であるが，poupée de chiffon には「後れをとっている」と感じているようである．

「poupée de son」の 「son」には「音」以外に,「麩（ふすま）／糠（ぬか)」の意味があり，文法的に <de+名詞 > は「素材・材料」を表すので，poupée de son は，一見（聴）「音人形」，実は「麩人形」という 2 つの意味を持つという説がある．しかし,「蝋人形，麩人形」では両素材の関係が不明である．また詩的には,「音でできた人形」という表現も許されるであろう．文脈上からも,「音人形（歌う人形)」が適切だと考える．

第 5 連に現れる 「Pour un oui pour un nom」 はよく分からない.「nom」を「non」とした版もあり悩ましいが，とりあえず「nom」とした．その上で一応の意味を推定したが確信は持てない．　同連 3 行目の「 L'amour n'est pas que dans les chansons 」は「愛は歌の中にだけあるのではない」だと思うが，ネットで目にする訳の多くは「(本当の）愛は歌の中だけにしかない」となっているので少し気になる．文法的には,「ne ... que」が後者に,「ne ... pas que」 は前者に対応するので間違いないと思うが…

最終連 3 行目に「chaleur」という語が出てくる．他の同義語もあるのに，あえて「chaleur」を選んだのは,「熱」で蝋が溶けることを仄めかしているのだと思う．S. ゲンスブールは F. ギャルに「もっと柔らかくなれ」と言いたかったのかもしれない.

F. ギャルは第 10 回（1965 年）ユーロビジョン・ソング・コンテストで，ルクセンブルク代表としてこの歌を歌い優勝した．17 頁の下段の写真は表彰式の 1 コマである．

この歌は世界中でカバーされている．本人も仏，独，伊，日の（少なくとも）4 か国語で歌っているが，本人による英語版は存在しない.

Therion というシンフォニックメタル・バンドが 2012 年にこの歌をカバーしている．これも悪くない.
（Therion - Poupée De Cire, Poupée De Son）

Attends ou va t'en

Paroles et Musique de Serjous Gainsbourg



https://www.youtube.com/watch?v=M4Tu-iGVQws
France Gall - Attends ou vas t'en 1965





Attends ou va t'en (Serjous Gainsbourg)

À peine sorti de la nuit
À peine né d'hier
C'est la guerre
Attends demain
On verra bien
Qui gagne et qui perd

De la dernière pluie de la nuit
Nous sommes tombés tous deux
Amoureux
Attends le jour
Où cet amour
Ne sera plus un jeu

Attends ou va-t'en
Mais ne pleure pas
Attends ou va-t'en loin de moi
Attends ou va-t'en
Ne m'embête pas
Va-t'en, ou alors attends-moi

À peine sorti de la nuit
Et tu parles sans rire
De mourir
Attends un peu
Ce n'est pas le moment
De partir

De la dernière pluie de la nuit
Est tombée de mon cœur
Une fleur
Attends l'aurore
De rose et d'or
Sera sa couleur

Attends ou va-t'en
Mais ne pleure pas
Attends ou va-t'en loin de moi
Attends ou va-t'en
Ne m'embête pas
Va-t'en, ou alors attends-moi

↗

La dernière pluie de la nuit
C'est le premier chagrin
Du matin
À tout hasard
Attends ce soir
Et tu verras bien

Attends ou va-t'en
Mais ne pleure pas
Attends ou va-t'en loin de moi
Attends ou va-t'en
Ne m'embête pas
Va-t'en ou alors attends-moi

待つのそれとも行っちゃうの　　（訳：ぬまた かずみち）

無理して夜出て行こうとする
昨日始まったばかり
それは戦争
明日まで待てば
分かるのに
どちらが勝ってどちらが負けるか

夜降った最後の雨で
私たち二人は
恋に落ちた
昼まで待って
そのとき　この恋は
もう遊びじゃない

待つのそれとも行っちゃうの
でも泣かないで
待つのそれとも遠くへ行っちゃうの
待つのそれとも行っちゃうの
私を困らせないで
行っちゃうの，それとも待ってくれるの

無理して夜出て行こうとする
そしてあなたは冗談でなく話す
死について
もう少しだけ待って
今はその時ではない
別れの

夜降った最後の雨で
私の心から
一つの花が落ちた
それまで待って
バラ色と黄金色の夜明けの光が
その花を染めるまで

待つのそれとも行っちゃうの
でも泣かないで
待つのそれとも遠くへ行っちゃうの
待つのそれとも行っちゃうの
私を困らせないで
行っちゃうの，待ってはくれないの
↗

夜降った最後の雨
それは明日の
一番の心配
どんなことがあっても
今晩まで待って
そうすればあなたも分かるでしょう

待つのそれとも行っちゃうの
でも泣かないで
待つのそれとも遠くへ行っちゃうの
待つのそれとも行っちゃうの
私を困らせないで
行っちゃうの，待ってはくれないの

■歌の対象である男女二人の状況が今一つ不分明で訳し難い．ネットで宇藤カザン氏と朝倉ノニー氏の訳[16]を見付けて参考にしたが，肝心の点は両氏の訳を見ても解決しない．疑問は第1連に現れる「la guerre」の意味である．両氏とも.「戦争（戦い）＝二人の恋の駆引き」と考えているようだが，今一つ説得力を感じない．

この曲が作られた1965年は第三次中東戦争の少し前で，すでにヨルダン川周辺で武力衝突が起きていた時期である．ロシア-ユダヤ系フランス人であるS. ゲンスブールのこの紛争に対する関心は，常人以上だったのではなかろうか．そのような背景の下で，義勇兵を志願して（フランスから）中東へ赴こうとする男に対する女の気持ちを歌ったものと考えると，一連の歌詞が腑に落ちる．

男は「冗談抜きで死について話」し（第4連）．女は「朝まで」,「昼まで」,「晩まで」と一寸刻みで男を思い留まらせようとする.「行かないで」とは言わずに,「待って」というのは，日和見であるが,「大義」に対する遠慮も感じられていじらしい．

死の可能性に意義を見出すことを余儀なくされる男と生の継続を担う女の葛藤は人間という生物の永遠のテーマであろう．

細かい部分では，宇藤，朝倉両氏の訳にずいぶんお世話になった．ただし，第3，6，8連に出てくる「ne pleure pas」については，両氏の間に若干の相違がある．柔らかい命令形としての「泣かないで」を選んだ．付随する「Ne m'embête pas」については，両者ともに，命令形の「私を困らせないで」で一致している．

日本で発売されたこの曲を含むCD（仏語歌唱）において，この歌の邦題は「涙のシャンソン日記」とされている．売行きを考慮した意訳と思われるが，少しズレているような気がする．タイトルのみの訳で，歌詞の訳が付されているわけではない．

[16]宇藤：http://lapineagile.blog.fc2.com/blog-entry-362.html,
朝倉：http://chantefable2.blog.fc2.com/blog-entry-82.html

Baby Pop

Paroles et Musique de Serjous Gainsbourg



https://www.youtube.com/watch?v=4UJfdoVoM7I
France Gall - Baby Pop (1965) Audio HQ







Baby Pop (Serjous Gainsbourg)

Les quelques sous que tu vas gagner
Faudra pour ça durement travailler
Te lever aux aurores
Automne comme été
Tu auras beau économiser
Tu ne pourras rien mettre de côté
Et là-dessus encore
Heureuse si tu peux
Aller danser

Chante, danse Baby pop
Comme si demain Baby pop
Ne devait jamais Baby pop
Jamais revenir
Chante, danse Baby pop
Comme si demain Baby pop
Au petit matin Baby pop
Tu devais mourir

Sur l'amour tu te fais des idées
Un jour ou l'autre c'est obligé
Tu seras une pauvre gosse
Seule et abandonnée
Tu finiras par te marier
Peut-être même contre ton gré
À la nuit de tes noces
Il sera trop tard pour
Le regretter

Chante, danse Baby pop
Comme si demain Baby pop
Ne devait jamais Baby pop
Jamais revenir
Chante, danse Baby pop
Comme si demain Baby pop
Au petit matin Baby pop
Tu devais mourir

↗

Tu ne peux ignorer les dangers
Que représentent les libertés
Les menaces de guerre
Semblent se préciser
À cet instant Baby tu le sais
Où tous les soleil vont se lever
Quelque part sur la terre
Les balles sifflent le
Sang est versé

Chante, danse Baby pop
Comme si demain Baby pop
Ne devait jamais Baby pop
Jamais revenir
Chante, danse Baby pop
Comme si demain Baby pop
Au petit matin Baby pop
Tu devais mourir

ベビー ポップ　　（訳：ぬまた かずみち）

僅かのお金を稼ぐにも
激しく仕事をしなくては
夜明けとともに起き出して
秋になっても夏と同じに
つましい節約重ねても
身の周りには何もない
少し貯めてもまだもっと
でも幸せだ
もし踊りに行けるなら

歌い踊れ，ベビー ポップ
まるで明日が，ベビー ポップ
決して再び，ベビー ポップ
やって来ないかのように
歌い踊れ，ベビー ポップ
まるで明日の，ベビー ポップ
朝早く，ベビー ポップ
死んでしまうかのように

愛について考える
いつの日にか避け難く
可哀そうな私
一人ぼっちで見捨てられ
結婚してみじめな自分を終りにする
たとえ好みに反していても
婚礼の夜
それを悔いても
遅すぎる

歌い踊れ，ベビー ポップ
まるで明日が，ベビー ポップ
決して再び，ベビー ポップ
やって来ないかのように
歌い踊れ，ベビー ポップ
まるで明日の，ベビー ポップ
朝早く，ベビー ポップ
死んでしまうかのように
↗

この世の危険も無視できない
自由のもたらす危うさを
戦争の脅威は
確かなようだ
この瞬間，ベビー，そう
どこかで日が昇る
地上のどこかで
弾が飛び
血が流れる

歌い踊れ，ベビー ポップ
まるで明日が，ベビー ポップ
決して再び，ベビー ポップ
やって来ないかのように
歌い踊れ，ベビー ポップ
まるで明日の，ベビー ポップ
朝早く，ベビー ポップ
死んでしまうかのように

■この歌の主題は，貧困と孤独と戦争，そして，それらから一時的あるいは永遠に逃れることができる歌と踊りである．動画のコメント欄には「ある種の実存主義者のポップ・ソング」という文言も見える．

「ベビー ポップ」は，正統派ミュージシャンが若い女（?）の子が歌う「イェイェ」などの囃し言葉の入ったポップソングを呼ぶときの蔑称だそうである．この歌にも「イェイエィエ」というお囃子が入っている[17]．

60 年代の日本で流れた東レの CM ソング（Sylvie Vartan：レナウン ワンサカ娘）の歌詞は,「ドライブウェイに春がくりゃイェエエイエイイェエエイ,...」であり[18]，これもベビーポップに分類されるのであろう．

S. ゲンスブールは,「蔑称」をあえてタイトルにして既存権威に反発しながら，人間世界の真実に触れる歌詞を書いた．第 1 連は,「貧困」の実相をよく捉えていると思う．一生懸命働いても僅かしか報われず，蓄積もままならない状況は本当につらい．

第 3 連で歌われている孤独と愛は，多くの人に当てはまる真実であろう．身につまされる．

第 5 連の歌詞は意外に具体的である．「弾が飛び，血が流れる」という言葉には，中東での戦火の兆し（当時）が影を落としているのかもしれない．

「歌と踊り」でなくても，何か夢中になれるものがあれば，貧や孤独や戦争の恐怖を凌げるのかもしれない．

歌詞を「実感のレベル」で感じ・考え，それを音にする F. ギャルにとって，人生経験を必要とするこの歌詞は歌い難かったかもしれない．それでも，第 2，4，6 連の繰返し部分では，小さく顔を振り，体で微かにリズムをとりながら，生気を込めて歌っている．

[17]「イェイエィエ」の部分はバックコーラスが歌っていて歌詞外の扱い．F. ギャルはその部分を歌っていない．

[18]この歌では，お囃子も歌詞の一部であり，S. バルタンが歌っている．

Nous ne sommes pas des anges

Paroles et Musique de Serjous Gainsbourg




https://www.youtube.com/watch?v=MDYpO184vs0
France Gall - Nous ne sommes pas des anges





Nous ne sommes pas des anges

(Serjous Gainsbourg)

Nous ne sommes pas des anges
Les anges du paradis
Trouveraient ce monde bien étrange
S'ils descendaient jusqu'ici

Non nous n'avons rien des anges
Des anges du paradis
Laissez-les au ciel là-haut les anges
La terre n'est pas le paradis

Les garçons on dirait des filles
Avec leurs cheveux longs
Quant à nous les filles
On dirait des garçons
Les filles en pantalons

Nous ne sommes pas des anges
Les anges du paradis
Trouveraient ce monde bien étrange
S'ils descendaient jusqu'ici

Non nous n'avons rien des anges
Des anges du paradis
Laissez-les au ciel là-haut les anges
La terre n'est pas le paradis

Les garçons embrassent les filles
Les filles en pantalons
Quant à nous les filles
Nous aimons les garçons
Avec leurs cheveux longs

Les garçons embrassent les filles
Les filles en pantalons
Quant à nous les filles
Nous aimons les garçons
Avec leurs cheveux longs

Nous ne sommes pas des anges
Les anges du paradis
Trouveraient ce monde bien étrange
S'ils descendaient jusqu'ici

↗

Non nous n'avons rien des anges
Des anges du paradis
Laissez-les au ciel là-haut les anges
La terre n'est pas le paradis

私たちは天使じゃない　　（訳：ぬまた かずみち）

私たちは天使じゃない
天国にいる天使たちとは違う
こちらの世界にさぞ驚くでしょう
もし彼らが地上に降りてきたら

私たちは天使に似ていない
天国にいる天使のようではない
天使たちは天上にそっとしておきましょう
地上は天国ではないのだから

男の子は女の子のよう
長い髪をなびかせて
私たち女の子と言えば
男の子のよう
ズボンをはいた女の子

私たちは天使じゃない
天国にいる天使たちとは違う
こちらの世界にさぞ驚くでしょう
もし彼らが地上に降りてきたら

私たちは天使に似ていない
天国にいる天使のようではない
天使たちは天上にそっとしておきましょう
地上は天国ではないのだから

男の子は女の子にキスをする
ズボンをはいた女の子に
私たち女の子と言えば
男の子を好きになる
長い髪をした男の子を

男の子は女の子にキスをする
ズボンをはいた女の子に
私たち女の子と言えば
男の子を好きになる
長い髪をした男の子を

私たちは天使じゃない
天国にいる天使たちとは違う　　私たちは天使に似ていない
こちらの世界にさぞ驚くでしょう　　天国にいる天使のようではない
もし彼らが地上に降りてきたら　　天使たちは天上にそっとしておきましょう
↗　　地上は天国ではないのだから

■歌詞は全 9 連からなるが，1=4=8，2=5=9，6=7 なので，実質は 1，2，3，6 の 4 連である．この短い詞で「地上は天国ではない」と言っている．
この自明な命題を “証明” するために，天上の「天使」に対応する地上の「私たち若者」を考える．そして私たちは天使（のよう）ではないと主張する．何故ならば，女の子はズボンをはき，男の子は長髪だから．よって，地上に天使はおらず，そこは天国ではないというわけである．

「地上が天国ではないのは残念だが，こちらはこちらで楽しくやってますよ」という歌のように思える．

17 頁上段左側で F. ギャルは天を指さし，続けて右側では地上を指している．場所はプラント工場の敷地のようであるが，主題に忠実な振付である．

中段は，長髪の男性とズボンをはいた女性が，歌唱する F. ギャルの傍らで踊る（パントマイムする）動画[19] の 1 コマである．こちらは地上の様子に重点を置いた振付である．

下段は，下記「独語による本人カバー動画」の 1 コマである．上・中段は歌詞に合わせてズボンをはいているが，ここではスカート姿である．

この歌も多くの人・グループによってカバーされている．

本人による独語カバー
（France Gall - Wir sind keine Engel）
https://www.youtube.com/watch?v=o9H2YmwuLWY

シンフォニックメタル・バンド Therion
（Therion - Nous Ne Sommes Pas Des Anges）
https://www.youtube.com/watch?v=g9rbpCWJzGo

Heavenly（これもメタル系？）
（Heavenly Nous Ne Sommes Pas Des Anges）
https://www.youtube.com/watch?v=ZZAxNqkwi3A

[19] France Gall - Nous Ne Sommes Pas des Anges
https://www.youtube.com/watch?v=hx5-02gWlmU

La rose des vents

Paroles de Maurice Vidalin
Musique de Jacques Datin



https://www.youtube.com/watch?v=VachYN_sDos
France Gall - La Rose Des Vents (HD)







La rose des vents (Maurice Vidalin)

Dans mon jardin
Mais j'ai pas de jardin
Qu'est devant ma maison
Mais j'ai pas de maison
Il n'y a qu'une fleur
Elle est tout ce que j'ai
Cette fleur

À respirer la rose des vents
La tête me tourne
À respirer la rose des vents
La tête me tourne souvent

Sur mon bateau
Mais j'ai pas de bateau
Un jour je m'en irai
Va savoir où j'irai
C'est écrit dans la fleur
Elle en a des projets
Cette fleur

À respirer la rose des vents
La tête me tourne
À respirer la rose des vents
La tête me tourne souvent

Cette chanson
Si c'est une chanson
Je l'ai faite pour toi
Toi qui n'existe pas
Je la chante à la fleur
Elle en sait des secrets
Cette fleur

À respirer la rose des vents
La tête me tourne
À respirer la rose des vents
La tête me tourne souvent

風の薔薇　　（訳：ぬまた かずみち）

私の庭に
庭はないけど
私の家の前にある
家はないけど
たった一つの花がある
それだけが私のもの
この花が

その風の薔薇を吸い込むと
めまいがする
風の薔薇を嗅ぐたびに
頭がくらくらする

私のボートに乗って
ボートはないけど
いつの日か私は出ていく
どこに着くかはわからない
それは花の中に書かれている
花に予定されている
その花に

この風の薔薇を吸い込むと
めまいがする
風の薔薇を嗅ぐたびに
頭がくらくらする

この歌を
もしこれが歌なら
あなたのために私は作った
存在しないあなたに
その歌を花へ向けてうたう
花は秘密を知っている
この花は

その風の薔薇を吸い込むと
めまいがする
風の薔薇を嗅ぐたびに
頭がくらくらする

■ F. ギャルが歌う歌詞を翻訳してみたいと最初に思ったのは，この曲を聴いたときである．道路に面した貧しげな家（アパルトマン？）の前で質素なワンピース姿の彼女が歌っている動画（33 頁）は，何か気になる詩的メッセージを発しているように感じた．

一読，超（非？）現実的な歌詞であるが，明晰に書かれているので，伝えたい内容は良く分かる．若い女の子の素朴な（あるいは洗練された）運命観が伝わってくる．

原詩の語と対応する訳文の語が，行単位で，できるだけ同じ順番で現れるように訳してみた．頭に浮かぶイメージ（観念）の順序が原詩に近いほど，オリジナルに近い感慨が味わえるのではないかと思ったからである [20]．
「Il n'y a qu'une fleur」は「一つの花しかない」と訳すべきかもしれないが，言葉の流れの中で，花に焦点を移すには（日本語においては）否定形よりも肯定形の方がしっくりくるので，ほぼ等価な「たった一つの花がある」とした．

語と意味を理解した後で，仏語の歌詞を F. ギャルの歌唱で聞くと，言葉の意味が頭の中で広がる．

”rose des vents” は直訳すれば「風の薔薇」であるが,「羅牌（らはい；羅針儀の図盤）」という意味もある．これは辞書に載っている “ダブルミーニング” である．作詞者はそこから逆算して歌詞を考えたのかもしれない．
ちなみに日本で発売された CD（仏語歌唱）におけるこの曲の邦題は「羅針盤」となっている．

この文を書くまで，作者（作詞，作曲）は S. ゲンスブールだと思い込んでいたのだが，念のため調べてみたら違っていた.「この曲のどこにも属さない浮遊感にはユダヤ教の背景が...」などと想像していたのであるが見当違いだった．といって，キリスト教的でもイスラム教的でもないような気がする．

Maurice Vidalin と Jacques Datin は,「初めての本当のバカンス」の作詞・作曲コンビである．

[20] この歌は，原文と同じ順に並べる方が訳しやすい．他の 11 曲の訳においても，この原則に従った．

Les sucettes

Paroles et Musique de Serjous Gainsbourg



https://www.youtube.com/watch?v=zkfkkiLm91I
Les Sucettes / France Gall









Les sucettes (Serjous Gainsbourg)

Annie aime les sucettes
Les sucettes à l'anis
Les sucettes à l'anis
D'Annie
Donnent à ses baisers
Un goût ani-
Sé lorsque le sucre d'orge
Parfumé à l'anis
Coule dans la gorge d'Annie
Elle est au paradis

Pour quelques pennies
Annie
À ses sucettes à
L'anis
Elles ont la couleur de ses grands yeux
La couleur des jours heureux

Annie aime les sucettes
Les sucettes à l'anis
Les sucettes à l'anis
D'Annie
Donnent à ses baisers
Un goût ani-
Sé lorsqu'elle n'a sur la langue
Que le petit bâton
Elle prend ses jambes à son corps
Et retourne au drugstore

Pour quelques pennies
Annie
À ses sucettes à
L'anis
Elles ont la couleur de ses grands yeux
La couleur des jours heureux

Lorsque le sucre d'orge
Parfumé à l'anis
Coule dans la gorge d'Annie
Elle est au paradis

棒つきキャンディー　（訳：ぬまた かずみち）

アニーは棒つきキャンディーが好き
アニス味の棒つきキャンディーが
アニス味の棒つきキャンディーに
アニーが
ロづけすると
味がやってくるアニ
スの アニス風味の
大麦糖の液が
アニーの喉を通るとき
彼女は天国にいる

何個かのペニー貨で
アニーは手に入れる
アニス味の
棒つきキャンディーを
それは彼女の大きな目と同じ色をしている
幸せな日の色を

アニーは棒つきキャンディーが好き
アニス味の棒つきキャンディーが
アニス味の棒つきキャンディーに
アニーが
ロづけすると
味がやってくるアニ
スの 舌の上に
小さな棒しかなくなったとき
彼女は大急ぎで
ドラッグストアーに駆け戻る

何個かのペニー貨で
アニーは手に入れる
アニス味の
棒つきキャンディーを
それは彼女の大きな目と同じ色をしている
幸せな日の色を

アニス風味の
大麦糖の液が
アニーの喉を通るとき
彼女は天国にいる

■この歌の訳は朝倉ノニー氏の訳[21]を土台にしている．朝倉氏の訳は安定していて大きな異論を挟む余地はない[22]．そこで，納得できる部分を借用し，微妙に違和感のあるところを自己流に変更して前頁の訳を作成した．
第 1（3）連の 3 行目から 7 行目「Sé」[23] までの訳文について，語の出現順が原文と（行単位で）できるだけ同じになるように（ほぼ等価に）言い換えてみた．
第 1（5）連の「Elle est au paradis」は「彼女は天国に行った気分になる（朝倉訳）」より「彼女は天国にいる」の方が良いように思う．

F. ギャルはこの歌を「女児（アニー）が棒飴をしゃぶりその液が喉を流れ落ちるときの官能的な喜びとその幸せを歌う」と解釈し，飴の甘さがこちらに伝わってくるように歌っている．

天国に強い愛着のある S. ゲンスブールも，そもそもは「幼児の天国感」をテーマとして，この歌を作ったのだと思う．作りながら別のことを考えていたかどうかは分からないが，天才の認識・表現は深く透徹するので，他の「天国状況」をも表現できてしまったというべきであろう．

いわゆる “blow job” の暗喩が大げさに喧伝されるが，「（飴がなくなると）お金をつかんでドラッグストアーに駆け戻る」状況は，薬物中毒天国を暗示しているかもしれない．

彼女が「後で知って怒った」のは，音楽的に尊敬していた彼が第二の意味を利用してこの歌の商業的成功を画策したことではなかろうか．

本来のテーマに即して聴けば，彼女が喜びの歌を正しく解釈して歌っているのが分かる．もっとも，動画の彼女は可愛さを通り越した恍惚感（sexy かも）を漂わせてもいる．

この歌も Therion がカバーしている．

Therion - Les Sucettes (France Gall cover)

これを聴いても，天国感のある美しい曲だと改めて感じる．

[21] http://chantefable2.blog.fc2.com/blog-entry-734.html?sp
[22] 紛れのない原文は誰が訳しても大差ないという側面もある．
[23] 6 行目最後の語「anisé」が途中で切られて（改行されて）いるのは，「アニ（ー，ス，セ）」の韻を踏むためだと考えられる．

Quand on est ensemble

Paroles de Robert Gall & R. Berthier
Musique de Raymond Lefèvre & Franck Pourcel



https://www.youtube.com/watch?v=zfA93m2a3ok
France Gall - 1966 - Quand on est ensemble







Quand on est ensemble (Robert Gall et R. Berthier)

Quand on est ensemble toute la nuit
Nous dormons jusqu'au matin
La main dans la main
En dormant si tu as rêvé de moi
Moi j'ai rêvé de toi

Quand on est ensemble, le soleil vient
Du bonheur dès le matin
Dénouer nos mains
Et très vite nous invite sous le ciel clair
À sauter dans la mer
Quand on est ensemble

Comme elle est douce la plage
Surtout à la fin du jour
J'ai trouvé un coquillage
Où l'on écoute l'amour
Oh oui l'amour

J'ai le cœur qui tremble
De ces baisers
Que tu as su me donner
Au creux des rochers

Et nos jeux
Ne sont que rires d'enfants
Qui résonnent longtemps
Où vont les lavandes

Bientôt la dernière voile
Bientôt le dernier pêcheur
Quand s'allument les étoiles
Nous n'avons plus qu'un seul cœur
Plus qu'un seul cœur

Le soir se fait tendre
Et doucement
Nous reprenons le chemin
Qui mène à demain

À demain Qui tous les deux me conduit
Au même paradis
Quand on est ensemble
Quand on est ensemble

一緒にいれば　　（訳：ぬまた かずみち）

一晩一緒にいるとき
朝まで眠る
手に手をとって
あなたが私の夢見れば
私はあなたの夢を見る

日が昇るとき一緒なら
朝の幸せに
手を解いて
澄んだ空，すぐに
飛び込む海の中
二人で一緒にいれば

浜辺はなんて気持ちがいいの
とりわけ素敵な日の沈むころ
見つけた貝殻に
愛を聴く
そう愛を

私の心は震えるの
その口づけに
あの岩陰で
あなたが私にしてくれる

私たちの戯れは
子供のような笑い合い
いつまでも響き渡る
ラベンダーの香りの中に

間もなく最後の舟が着く
間もなく最後の漁師が帰る
星たちが輝き始めるころ
私たちの心は一つに
一つの心以上に

晩は甘く
そして優しく
私たちはまた道を辿る
明日へ続く

また明日　それは二人して私を導く
同じ楽園に
二人で一緒にいれば
二人で一緒にいれば

■愛し合う二人[24]の一日を，海辺の光景の中に歌った美しい曲である．作曲は Raymond Lefèvre と Franck Pourcel，二人とも編・作曲家，指揮者（楽団長）を兼ねたイージーリスニング界の大御所である[25]．独特の節回しがある S. ゲンスブールの曲とは異なり，甘く滑らかで感覚的な曲である．

作詞は 父親の R. ギャルと R.Berthier．Berthier は母親[26]の姓である．ただし彼女の名前は Cécile なので R. ベルチエは母親ではない．ちなみに Cécile の父親は，パリ木の十字架少年合唱団の共同設立者だそうである．
「R.Berthier」に同様の関心を寄せる人は他にもいるらしく，動画のコメント欄で質問している．動画の提供者 Claudus-1943（前期 F. ギャル動画の第一人者，古い映像・音源を素材として動画を “創作” しているプロ）は，「調べたところ，Roger Berthier がもう一人の作詞者である．彼が F. ギャルの母親の実家と関係があるかどうかは分からないが，その可能性はある．ただし，Berthier は，めずらしい姓ではないので…」と答えている．

最終連の「~ tous les deux me conduit au ･･･」の訳には自信がない．一応，「~ は二人して私を ･･･ へ導く」としてみたが日本語として少し苦しい．
「･･･」は「paradis」である．S. ゲンスブールの歌詞に現れる paradis は「天国」，本曲の paradis は「楽園」がピッタリするように思う．

日本で発売されたこの曲を含む CD（仏語歌唱）において，この歌の邦題は「一緒にいると」とされている．筆者は，「一緒にいれば」と訳してみた．
大差ないかもしれないが，「いると」だと，「前提」なので後段が強調され，「いれば」だと，「仮定法」なので「一緒」という条件への願望が強調されるように思う．

[24]大人になる前の少年と少女に思える．
[25]この曲は，R. ルフェーブルがかの「シバの女王」を編曲・演奏する一年前に作られている．R. ルフェーブルは F. プールセル楽団のピアニストとしてキャリアを開始しているので，作曲の際に，意見を求めたりしたのであろう．
[26]彼女の写真（幼い F. ギャルと一緒）が 9 頁右下にある．

Néfertiti

Paroles et Musique de Serjous Gainsbourg



https://www.youtube.com/watch?v=clPnmS344AE
France Gall - 1967 - Nefertiti









Néfertiti (Serjous Gainsbourg)

Néfertiti
Reine barbare
Néfertiti
Prends ta cithare
Que ta chanson aille aux files
Des eaux du Nil

Néfertiti
Reine païenne
Tes bains de minuit
Belle égyptienne
Font rêver les crocodiles
Dans les eaux du Nil

Néfertiti
Reine d'Égypte
Néfertiti
Dors dans ta crypte
Que ton âme s'en aille aux files
Des eaux du Nil

Néfertiti
Sois pas inquiète
Belle momie
Tes bandelettes
Garderont leur parfum subtil
Jusqu'à l'an 2000

ネフェルティティ　　（訳：ぬまた かずみち）

ネフェルティティ
異邦の女王
ネフェルティティ
チターをとって
あなたの歌を
ナイルの水の流れに

ネフェルティティ
異教の女王
真夜中の沐浴
エジプト美女が
鰐たちに夢見させる
ナイルの水の中で

ネフェルティティ
エジプトの女王
ネフェルティティ
地下の墓に眠り
あなたの魂を
ナイルの水の流れに

ネフェルティティ
安らかに
美しいミイラ
あなたを覆う包帯は
密かな香りを保つ
2000 の年まで

■オリエンタルな雰囲気を塗した旋律は相変わらず美しいが，歌詞はやや月並みで，S. ゲンスブールらしい独特の言葉の流れは見当たらない．
「Les sucettes」の “ダブルミーニング商法” で F. ギャルの怒りを買った制作スタッフたちが,「美女」をテーマとした曲を提供して，彼女に機嫌を直してもらおうと考えたのかもしれない．
その種の動機が根底にあると，作曲はともかく，歌詞の方は，S. ゲンスブールの天才をもってしても，自由大胆に発想しにくいのではないだろうか．

世界的美女として具体的に誰を選んで歌うか？
ユダヤ系フランス人である S. ゲンスブールにとって，故国イスラエルが「普通の国」だった時代にその人を求めるのは，心安まる作業であろう．　ということで，祖先が移住していたこともあるエジプトの三大美女[27] から，ネフェルティティ[28] を選んだ（と想像してみる）．

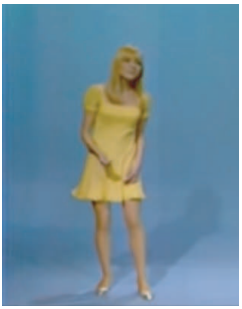
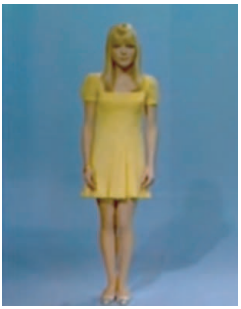
S. ゲンスブールの他の歌詞は，よく読むと，上から目線で対象を見ているものが多いが，この歌詞は下から（少なくとも横から）目線で書いている．ユダヤ系の人は古代エジプトには一目置くのかもしれない．

歌詞は全 4 連からなり，繰返しの連を持たないが,「ネフェルティティ」と「ナイル川」が繰返し歌われる．
私服姿でナイル川ならぬ，公園を流れる川（水路？）の縁を歩きながら歌う[29] 動画の F. ギャルは，ネフェルティティと同じくらい美しい．
「2000 の年まで」という句があるが，1967 年当時はずっと先であったその年を，今は 18 年も越えてしまっている．

[27] ネフェルティティ，ネフェルタリ，クレオパトラ（7 世）の三人．
[28] 紀元前 14 世紀中葉の人．新王国時代に属する第 18 王朝のファラオ，アクエンアテン-アメンホテプ 4 世の正妃．
[29] もちろん，映像にスタジオ録音した音声を重ねている．

Polichinelle

Paroles de Pierre Saka
Musique de Jean Bernard

https://www.youtube.com/watch?v=lSRLvsMupo8
France Gall - Polichinelle







Polichinelle (Pierre Saka)

J'ai un joli polichinelle
Que vient de m'offrir une amie
Dans son bel habit de dentelle
Il est assis, près de mon lit

Mais un jour mon polichinelle
En un grand garçon s'est changé
Il m'a dit : "Vous êtes bien celle
Que je vais aimer"

C'était le prince charmant
Dont je rêvais quand j'étais enfant
Il m'a prise dans ses bras
Et m'a dit tout bas :

"Déguisé en polichinelle
Je suis là pour vous emmener
Et demain une vie nouvelle
Pour tous les deux va commencer"

Oui mais juste à ce moment-là
Soudain j'ai entendu des pas
C'était ma mère qui arrivait
Et dans ma chambre, elle est entrée

Le garçon en polichinelle
Comme par miracle s'est changé
Dans son bel habit de dentelle
Assis sur mon lit

Je ne sais pas si j'ai rêvé
Ou bien si c'est la réalité
Mais moi j'ai depuis ce jour
Rencontré l'amour

J'ai un joli polichinelle
Que viens de m'offrir une amie
Dans son bel habit de dentelle
Il est toute ma vie

Dou dou dou dou dou dou dou
Dou dou dou dou dou dou dou
Dou dou dou dou dou dou dou
Dou dou dou dou dou dou dou

Il est toute ma vie
Il est toute ma vie
Il est toute ma vie

ポリシネル：道化人形　　（訳：ぬまた かずみち）

私はかわいい道化人形を持っている
友達が私にくれた人形
レース飾りのついた綺麗な衣装を着て
私のベッドのそばに座っている

だけどある日その人形が
大きくなって男の子に変身したの
彼は私に言った：「あなたはまさしく
私が愛することになっていた女性」

それは魅力的な王子様
子供のころに夢見ていた
彼は私を腕に抱き
そっと言った：

「道化人形に姿を変え
あなたを連れ出すため私はここにいる
そして明日新しい生活を
二人で始めるために」

そう，だけどちょうどその時
突然足音が聞こえたの
やってきたのはお母さん
そして私の部屋に入ってきた

男の子は道化人形に
魔法のように戻ったの
レース飾りのついた綺麗な衣装を着て
私のベッドの上に座っている

分からない，私は夢を見たの
それとも本当のことだったの
だけど私はこの日から
恋に落ちたの

私はかわいい道化人形を持っている
友達が私にくれた人形
レース飾りのついた綺麗な衣装を着て
彼はずっと私の中にいる

ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ
ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ
ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ
ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ ドゥ

彼はずっと私の中にいる
彼はずっと私の中にいる
彼はずっと私の中にいる

■バレエの「くるみ割り人形」[30] でも兵隊人形が王子様に変身するが，その前に人形の持主は人形のサイズにまで小さくなっている．
この「ポリシネル」では，持主はそのままで，道化人形だけが大きくなり王子様になる．この状況を F. ギャルが一人称で歌うとかなり現実的な感じがする．もっとも現実感が増すと不気味な感じもしてくるが…

49 頁と同じ動画に別の音声（ライブの音声）を重ねた動画 [31] では，第 2 連 1 行目の「Mais un jour mon polichinelle」を，「Mais un soir mon polichinelle」と歌っている．この動画のコメント欄で，Claudus1943 はそのことを指摘した上で，「このように公式の歌詞を裏切って歌ったとき，彼女が何を考えていたのか知りたい．Papa Gall[32] は彼女の意見を訊くべきであった」と書いている．
そういえば，S. ゲンスブールと F. ギャルが二人でお喋り（対談?）している動画（英語の字幕付）があって，彼が「最近の女の子たちが何を考えてるか知りたい」というと彼女は「私には分からない」とか答えるのであるが，「幽霊はいると思う？」と訊かれると「昼は思わないけど，夜は時々…」などと答えていた [33]．
「現実と幻想が重なる出来事」というのが F. ギャルの解釈で，それに従えば「jour」より「soir」の方が説得力があるかもしれない．もっとも，夜だとすると不気味さも増してくる．「少女の白日夢」という解釈に立てば「jour」の方が適当であろう．作詞者の考えはこちらだったかも知れない．

この歌もシンフォニックメタル・バンド Therion がカバーしている．Therion - Polichinelle (Les Fleurs du mal)
https://www.youtube.com/watch?v=BPRqhzxz2n8

[30] 原作は E.T.A.Hoffmann（プロイセン）による童話「くるみ割り人形とネズミの王様」．A.Dumas 親子がそれを仏語に翻訳（小説化）したものを基に，バレエ組曲が作られた．
[31] France Gall Polichinelle Live 1967
https://www.youtube.com/watch?v=xyLA2EmOKGQ
[32] 彼女の父親 R. ギャルのこと．Claudus1943 はこの歌の作詞者を父親だと思っているようだ．
[33] もう一度確認のためにこの動画を観たいと思ったが見付からない．

Rue de l'abricot

Paroles de Robert Gall & Vline Buggy
Musique de Jean-Pierre Bourtayre



https://www.youtube.com/watch?v=0XqRqVu8HRY
France Gall - 1968 - Rue de l'abricot







Rue de l'abricot (Robert Gall et Vline Buggy)

Pauvre garçon triste
Prisonnier de la ville
Pauvre figuier stérile
Pauvre garçon triste
Accablé par le bruit
Étouffé par l'ennui
Tu me dévores de l'oeil
Tu m'épluches la peau
Tu me manges d'envie
Et tu me dis ces mots

Toi, avec ton teint de pêche
Ta bouche en cerise
Et ton goût de raisin
Toi, avec ton rire d'eau fraîche
Ta chaleur clêmentine
Tu vis dans un jardin
Au 3 rue de l'abricot
Rue de l'abricot

Pauvre garçon triste
Jardinier de l'hiver
Pauvre plante de serre
Tu as le coeur vide
Tu ne vois pas le ciel
Tu pleures le soleil
Au fond de la corbeille
De mes bras amoureux
Tu me dis à l'oreille
Je t'aime et je te veux

Toi, avec ton teint de pêche
Ta bouche en cerise
Et ton goût de raisin
Toi, avec ton rire d'eau fraîche
Ta chaleur clémentine
Tu vis dans un jardin

Et je resterai demain
Notre amour sera beau
Au fond de ton jardin
Au 3 rue de l'abricot
Rue de l'abricot
Rue de l'abricot

アプリコット（杏）通り　　（訳：ぬまた かずみち）

悲しい顔をしたかわいそうな男の子
街の囚人
実のならないかわいそうなイチジクの木
悲しい顔をしたかわいそうな男の子
騒音に押しつぶされ
退屈で息が詰まりそう
あなたは私を見つめる
あなたは私の皮を剥く
あなたは羨ましげに私を食べる
そしてあなたは私に言う

君は，その桃色の顔と
さくらんぼうのような唇と
そしてブドウの味をもって
君は，その冷たい水のような笑いと
クレメンティンのような温かさと共に
アプリコット通り３番地の
庭に住んでいる
アプリコット通りの

悲しい顔をしたかわいそうな男の子
冬の庭作り
かわいそうな温室の植物
あなたの心は空っぽ
あなたは空を見ることがない
あなたは太陽を求めて泣く
花壇の奥で
愛に満ちた私の枝を通して
私の耳もとであなたは言う
僕は君が好き　君が欲しいと

君は，その桃色の顔と
さくらんぼうのような唇と
そしてブドウの味をもって
君は，その冷たい水のような笑いと
クレメンティンのような温かさと共に
庭に住んでいる

そして僕は明日も生きていよう
僕たちの愛は美しく育つ
アプリコット通り３番地の
君の庭の奥で
アプリコット通りの
アプリコット通りの

■美しい曲であるが，歌詞の意味を理解しにくい．
登場するのは，＜かわいそうな男の子＞ ＝ ＜元気のないイチジクの木（雄株？）＞と ＜健康でみずみずしい杏の実（木）＞ ＝ ＜歌い手（女の子）＞であるが，男の子（Pauvre garçon triste）が明示されるのに対し，女の子は前者の発話（tu me dis ces mots, Tu me dis à l'oreille）の中に（間接的に）現れるだけである．

一応，イチジクの木と杏の実という植物同士の交感を，男の子と女の子に擬人化して歌っているように思える．しかし，イチジクの木が杏を見つめるのはいいとしても，皮を剥いて食べるというのはしっくりこない．
逆に，元気のない男の子に元気な女の子が生きる力を与える関係をいちじくの木と杏で象徴しているようにも思える．しかし，「庭に住んでいる」や「温室住まいで空を見ることがない」などが何を象徴しているのかよく分からない．

要するに，擬人表現（植物界の話）なのか象徴表現（人間界の話）なのか判然としない． 一つ一つの文はそれなりに理解できるが，文と文のつながりが腑に落ちないので，歌詞全体の意味をしっかり理解できたという実感が持てない．
多分，筆者の仏文解釈能力が不足していて「行間を推測・補完できない」からだと思う．

それとも，擬人化と象徴が混然一体となった詩的表現なのであろうか．そうだとすると，この詩は元気なものが弱っているものに生きる元気を与える情景（心象風景）を歌っているのかもしれない．

53 頁で示した歌唱動画では，中段の写真（動画の 1 コマ）のように，F. ギャルの横に，やや幼い少女が無表情かつ元気のない風情で立っている．女の子ではあるが，彼女は「Pauvre garçon triste」なのかもしれない．
この子は Léonard Foujita が描いた「小さな職人たち」の中の「風船売り」の女の子に似ている [34]．

[34]「小さな職人たち」は箱根のポーラ美術館にある．まったく関係はないが，F. ギャルがこの歌を歌った 1968 年に，Foujita はスイスで亡くなっている．

初期のフランス・ギャルが歌った歌の詞

平成 30 年（西暦 2018 年）　6 月 4 日

ⓒ沼田 一道

FRANCE GALL

